

令和6年度 地域ケア個別会議 実施概要

| No | 包括 | 性別 | 年齢 | 要介護認定 | 世帯 | 課題 |
|----|------|----|-----|------------------|-------------------|---|
| 1 | やなか | 女性 | 87歳 | 要支援1 ※会議時は申請中 | 独居 | 独居で認知症の疑いがあり、日時の感覚が分からぬことや道に迷ってしまうこともある。近隣から本人を心配する声が複数あるが、何も支援を受けていない。 |
| 2 | くらまえ | 女性 | 83歳 | 要介護5 | [同居 娘] | 在宅介護が継続されているが、本人の医療処置が増え、家族の介護負担が大きい。さらに、医療処置を受けてもらえるサービスの選択肢が少ない。 |
| 3 | くらまえ | 男性 | 77歳 | 要介護1 ※会議時は申請中 | [同居 妻、長男、次男] | 本人は複数の不動産を所有しているが、収支状況を把握できておらず、入院を機にADLが低下。本人と同居しているのは精神科に通院する妻、障害のある長男、引きこもり気味の次男であり、世帯全体への支援が見込まれる。 |
| 4 | みのわ | 女性 | 87歳 | 要介護1 ※会議時は申請中 | 独居 | 認知症の診断があり、過去に通帳や印鑑を紛失したことがある。協力してくれる親戚もいないため、今後介護サービス等の契約や金銭管理ができず、本人に不利益が生じる可能性が高い。 |
| 5 | みのわ | 男性 | 86歳 | 要介護2 ※会議時は申請中 | [同居 妻] | 本人は透析に通うためにヘルパーを利用中。今後、本人と妻ともに病院と金銭トラブルを起こしたり、妻は本人のサービスを拒否する可能性が高い。本人のサービスが中止すると必要な医療が受けられなくなる恐れもある。 |
| 6 | まつがや | 男性 | 77歳 | 要介護4 | [同居 妻] | 外国籍の妻と同居。本人は身体・認知機能の低下があり、特に物忘れや異食などの症状が顕著にみられる。本人はサービス利用に対して拒否があり、通所サービスの利用には至っていない。 |
| 7 | まつがや | 女性 | 78歳 | 未認定 | [同居 双子の妹] | 地域包括支援センター等による見守りを続けているが、本人は「困っていない」と話す。実際はごみが玄関や階段に積まれ、日常生活に支障が出ている可能性が高い。 |
| 8 | たいとう | 女性 | 80歳 | 要介護2 ※会議時は申請中 | [同居 夫] | 本人から夫の妹に「食べるものがない」との連絡があり、夫の妹が訪問すると自宅内はゴミが散乱。本人は認知症が疑われる状態であり、夫は視力低下が進んでいた。近所付き合いはなく、この1年どのように暮らしていたか本人、夫ともに覚えていない。 |
| 9 | ほうらい | 女性 | 81歳 | 未認定 | [同居 夫] | 本人は夫の介護に尽力しているが、他者を信頼できず、事実とは異なる思い込みをしている。精神科は未受診であり、夫のケアマネジャーがモニタリングのために訪問しても本人が一方的に話をし、夫には会えないことが続いている。 |
| 10 | ほうらい | 女性 | 84歳 | 要介護2 | [同居 息子・娘] | 娘に対して被害妄想がある。お金に執着があり100万円～300万円の現金を持ち歩き色々なところにお金を見せてしまう。介護保険のサービスも拒否している。 |

☆前回（令和6年度第2回）以降に報告するケース

それ以外のケースは3か月後のモニタリング結果やその後の状況を追記